

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式			
信 託 期 間	無期限			
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。			
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券		
	ダイワ・ロシア株マザーファンド	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のＤＲ（預託証券）		
マザーファンドの運用方法	①主としてロシアの株式（※）の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ※株式…ＤＲ、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。 イ．業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。 ロ．財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。 ハ．ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。			
	組 入 制 限	<table><tr><td>ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率</td><td rowspan="2">無制限</td></tr><tr><td>マザーファンドの株式組入上限比率</td></tr></table>	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限			
マザーファンドの株式組入上限比率				
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。			

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてマザーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ロシア株ファンド

運用報告書(全体版)
第18期

(決算日 2017年2月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ロシア株ファンド」は、このたび、第18期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

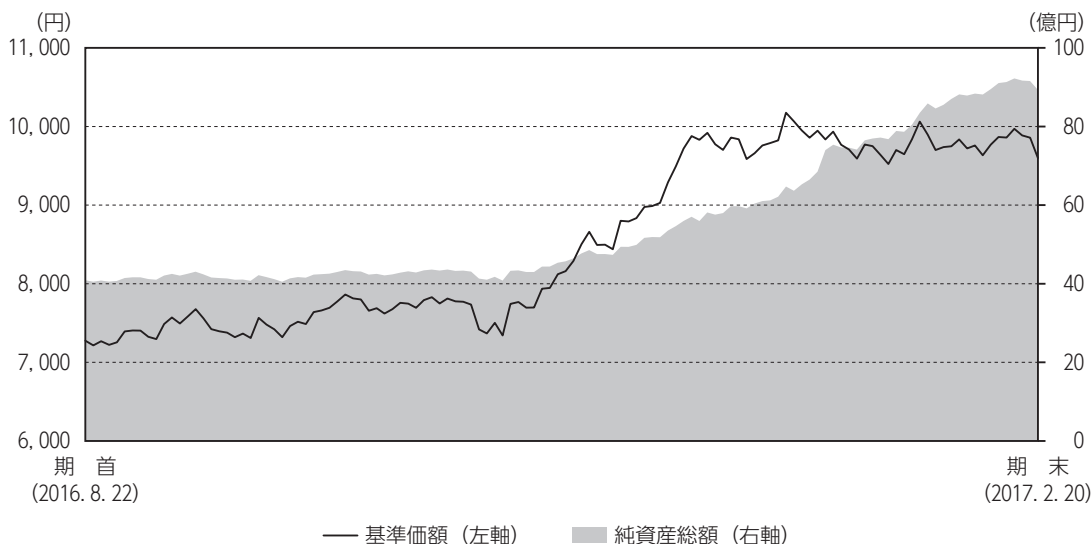
決 算 期	基 準 価 額			M S C I ロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末 (2015年 2 月20日)	7,914	0	△ 7.8	6,181	△ 10.9	93.1	—	5,023
15期末 (2015年 8 月20日)	7,536	0	△ 4.8	5,950	△ 3.7	90.7	—	4,489
16期末 (2016年 2 月22日)	6,190	0	△ 17.9	4,990	△ 16.1	90.4	—	3,534
17期末 (2016年 8 月22日)	7,276	0	17.5	5,975	19.7	97.2	—	4,088
18期末 (2017年 2 月20日)	9,598	0	31.9	8,050	34.7	91.4	—	8,929

- (注 1) M S C I ロシア10/40指数 (配当込み、円換算) は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I ロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。M S C I ロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。また M S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：7,276円

期末：9,598円

騰落率：31.9%

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてロシアの株式に投資した結果、ロシア株式市況や対円でのロシア・ルーブル為替相場が堅調に推移したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ロシア株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2016年 8 月22日	円	%		%	%	%
	7,276	—	5,975	—	97.2	—
8 月末	7,404	1.8	6,066	1.5	96.7	—
9 月末	7,516	3.3	6,175	3.3	95.4	—
10月末	7,775	6.9	6,369	6.6	90.0	—
11月末	8,439	16.0	6,932	16.0	91.7	—
12月末	9,823	35.0	8,259	38.2	87.3	—
2017年 1 月末	9,895	36.0	8,304	39.0	89.5	—
(期末)2017年 2 月20日	9,598	31.9	8,050	34.7	91.4	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 8. 23 ~ 2017. 2. 20)

■ロシア株式市況

ロシア株式市況は、期首から2016年11月上旬にかけてボックス圏での推移となりましたが、その後は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利によって市場のリスク選好が強まる中、ロシアの経済指標が改善してきたこと、米国の次期国務長官にロシアのプーチン大統領と親交のある米国石油大手エクソンモービルのCEO（最高経営責任者）の起用が決まったとの報道を受けて米国とロシアの関係改善期待が強まったこと、OPEC（石油輸出国機構）が11月末の総会で減産で合意し原油価格が上昇したことなどが支援材料となり、2017年1月上旬にかけて上昇しました。しかし、米国のトランプ新大統領が署名する大統領令に一喜一憂する展開となる中、英国のEU（欧州連合）強硬離脱に対する懸念や原油価格が横ばいで推移したことなどをを受けて、期末にかけては上昇幅を縮小させる展開となりました。

■為替相場

対円で見えたロシア・ルーブルは、期首から2016年11月上旬にかけてはボックス圏での推移となりましたが、その後、前述のように米国大統領選挙でのトランプ氏勝利によって市場のリスク選好が強まる中、原油価格の上昇などが支援材料となり、2017年1月上旬にかけて上昇しました。その後、米国の貿易赤字解消を積極的にめざすトランプ新大統領の姿勢を受けて円高が進行したことや、原油価格が横ばいで推移したことなどをを受けて、2月上旬にかけては上値の重い展開となりました。しかし米国の格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスがロシアの格付け見通しを引き上げたことなどに伴い、期末にかけて再び上昇に転じました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、割安な株価バリュエーション等が支援材料となる素材、金融セクターなどに注目しています。ただし、素材セクターへの影響が大きい商品市況の動向や、政府が財政赤字削減のためにエネルギー関連企業に対する増税を課す可能性については注意が必要と考えています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

ポートフォリオについて

(2016. 8. 23 ~ 2017. 2. 20)

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資しました。

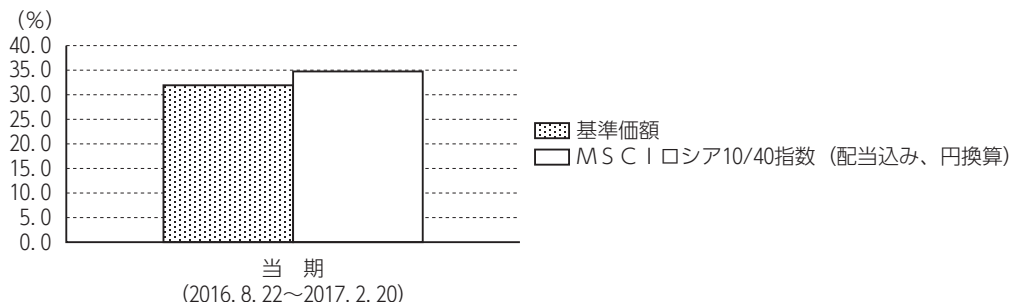
■ダイワ・ロシア株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、85%程度以上を維持しながら、市場環境などに応じて機動的に変動させました。業種では、原油価格が回復する中、相対的に安定したキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、割安な株価バリュエーションに加え、今後の緩やかな貸出需要の回復期待や貸倒引当金の低下観測等が支援材料となった金融セクターなどを高位としました。個別銘柄では、NOVATEK（エネルギー）、LUKOIL（エネルギー）、ALROSA（素材）、RUSHYDRO（公益事業）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2016年8月23日 ～2017年2月20日	
当期分配金（税込み）（円）	—	
対基準価額比率（％）	—	
当期の収益（円）	—	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	1,236	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融セクターなどに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 8. 23～2017. 2. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0. 905%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 567円です。
(投 信 会 社)	(37)	(0. 431)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	36	0. 418	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(36)	(0. 418)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	13	0. 152	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0. 124)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 025)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	126	1. 474	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・ロシア株ファンド

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年 8 月23日から2017年 2 月20日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	3, 285, 762	3, 707, 000	159, 462	152, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年 8 月23日から2017年 2 月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ロシア株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12, 758, 104千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4, 916, 630千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2. 59

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	4, 855, 834	7, 982, 134	8, 881, 720

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 2 月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ロシア株マザーファンド	8, 881, 720	98. 8
コール・ローン等、その他	103, 745	1. 2
投資信託財産総額	8, 985, 466	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112. 88円です。

(注 3) ダイワ・ロシア株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(8, 789, 150千円)の投資信託財産総額(8, 919, 664千円)に対する比率は、98. 5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 2 月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8, 985, 466, 157円
コール・ローン等	103, 745, 416
ダイワ・ロシア株マザーファンド (評価額)	8, 881, 720, 741
(B) 負債	55, 866, 855
未払解約金	5, 907, 348
未払信託報酬	49, 811, 353
その他未払費用	148, 154
(C) 純資産総額 (A－B)	8, 929, 599, 302
元本	9, 303, 890, 310
次期繰越損益金	△ 374, 291, 008
(D) 受益権総口数	9, 303, 890, 310口
1 万口当り基準価額 (C / D)	9, 598円

* 期首における元本額は5, 618, 461, 336円、当期中における追加設定元本額は4, 809, 954, 583円、同解約元本額は1, 124, 525, 609円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9, 598円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は374, 291, 008円です。

■損益の状況

当期 自2016年 8月23日 至2017年 2月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 17,925円
受取利息	1,345
支払利息	△ 19,270
(B) 有価証券売買損益	1,092,434,799
売買益	1,270,694,317
売買損	△ 178,259,518
(C) 信託報酬等	△ 49,959,507
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	1,042,457,367
(E) 前期繰越損益金	△ 497,245,243
(F) 追加信託差損益金	△ 919,503,132
(配当等相当額)	(604,935,826)
(売買損益相当額)	(△ 1,524,438,958)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 374,291,008
次期繰越損益金 (G)	△ 374,291,008
追加信託差損益金	△ 919,503,132
(配当等相当額)	(604,935,826)
(売買損益相当額)	(△ 1,524,438,958)
分配準備積立金	545,212,124

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,920,998円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	210,550,012
(c) 収益調整金	604,935,826
(d) 分配準備積立金	296,741,114
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,150,147,950
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,150,147,950
(h) 受益権総口数	9,303,890,310口

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。
- (注 4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用 : 10,946,748円 (未監査)

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

運用報告書 第18期（決算日 2017年 2月20日）

（計算期間 2016年 8月23日～2017年 2月20日）

ダイワ・ロシア株マザーファンドの第18期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のD R（預託証券）
運 用 方 法	①主としてロシアの株式（※）の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ※株式…D R、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。 イ. 業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。 ロ. 財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。 ハ. ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。 ⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

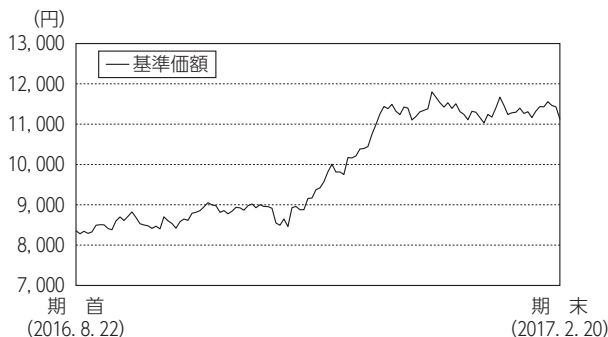
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		MSCI ロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 株 式 組入比率 先物比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%
(期首) 2016年 8月22日	8,353	—	5,975	—	98.0	—
8月末	8,504	1.8	6,066	1.5	97.5	—
9月末	8,647	3.5	6,175	3.3	96.0	—
10月末	8,960	7.3	6,369	6.6	90.4	—
11月末	9,749	16.7	6,932	16.0	92.5	—
12月末	11,383	36.3	8,259	38.2	88.0	—
2017年 1月末	11,464	37.2	8,304	39.0	89.9	—
(期末) 2017年 2月20日	11,127	33.2	8,050	34.7	91.9	—

(注1) MSCI ロシア10/40指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI ロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI ロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：8,353円 期末：11,127円 騰落率：33.2%

【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は、ロシア株式市況や対円でのロシア・ルーブル為替相場が堅調に推移したことにより、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ロシア株式市況

ロシア株式市況は、期首から2016年11月上旬にかけてボックス圏での推移となりましたが、その後は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利によって市場のリスク選好が強まる中、ロシアの経済指標が改善してきたこと、米国の次期国務長官にロシアのプーチン大統領と親交のある米国石油大手エクソンモービルのCEO (最高経営責任者) の起用が決まったとの報道を受けて米国とロシアの関係改善期待が強まったこと、OPEC (石油輸出国機構) が11月末の総会で減産で合意し原油価格が上昇したことなどが支援材料となり、2017年1月上旬にかけて上昇しました。しかし、米国のトランプ新大統領が署名する大統領令に一喜一憂する展開となる中、英国のEU (欧州連合) 強硬離脱に対する懸念や原油価格が横ばいで推移したことを受けて、期末にかけては上昇幅を縮小させる展開となりました。

○為替相場

対円で見えたロシア・ルーブルは、期首から2016年11月上旬にかけてはボックス圏での推移となりましたが、その後、前述のように米国大統領選挙でのトランプ氏勝利によって市場のリスク選好が強まる中、原油価格の上昇などが支援材料となり、2017年1月上旬にかけて上昇しました。その後、米国の貿易赤字解消を積極的をめざすトランプ新大統領の姿勢を受けて円高が進行したことや、原油価格が横ばいで推移したことなどを受けて、2月上旬にかけては上値の重い展開となりました。しかし米国の格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスがロシアの格付け見直しを引き上げたことなどに伴い、期末にかけて再び上昇に転じました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、割安な株価バリュエーション等が支援材料となる素材、金融セクターなどに注目しています。ただし、素材セクターへの影響が大きい商品市況の動向や、政府が財政赤字削減のためにエネルギー関連企業に対する増税を課す可能性については注意が必要と考えています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってもらいます。

◆ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、85%程度以上を維持しながら、市場環境などに応じて機動的に変動させました。業種では、原油価格が回復する中、相対的に安定したキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、割安な株価バリュエーションに加え、今後の緩やかな貸出需要の回復期待や貸倒引当金の低下観測等が支援材料となった金融セクターなどを高位としました。個別銘柄では、NOVATEK (エネルギー)、LUKOIL (エネルギー)、ALROSA (素材)、RUSHYDRO (公益事業) などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の参考指数 (MSCI ロシア10/40指数 (配当込み、円換算)) の騰落率は34.7%となりました。一方、当ファンドの騰落率は33.2%となりました。

《今後の運用方針》

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融セクターなどに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	42円 (42)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	15 (12) (3)
合 計	57

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株 式

(2016年 8月23日から2017年 2月20日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ロシア	百株 2, 344, 848. 5	千アメリカ・ドル 69, 962	百株 886, 134. 7	千アメリカ・ドル 44, 604
		(—)	(—)		

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2016年 8月23日から2017年 2月20日まで)

当 期				付			
買		売		付		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ALROSA PJSC (ロシア)	3, 900	669, 823	171	MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS (ロシア)	125. 5	547, 735	4, 364
LUKOIL PJSC-SPON ADR (ロシア)	80	499, 547	6, 244	MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR (ロシア)	225	361, 768	1, 607
SURGUTNEFTGAS-PREFERENCE (ロシア)	8, 150	461, 945	56	ALROSA PJSC (ロシア)	2, 450	358, 277	146
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR (ロシア)	215	443, 166	2, 061	NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR (ロシア)	145	314, 842	2, 171
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	30. 5	409, 035	13, 411	ROSNEFT OIL CO PJSC (ロシア)	400	290, 236	725
GAZPROM PAO -SPON ADR (ロシア)	750	395, 906	527	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	22. 5	273, 745	12, 166
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR (ロシア)	200	392, 541	1, 962	MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ (ロシア)	1, 270	257, 872	203
VTB BANK JSC -GDR-REG S (ロシア)	1, 600	385, 399	240	ROSNEFT OIL CO PJSC-REGS GDR (ロシア)	400	242, 800	607
INTER RAO UES PJSC (ロシア)	55, 000	381, 002	6	SURGUTNEFTGAS-PREFERENCE (ロシア)	4, 150	205, 111	49
TRANSNEFT PJSC (ロシア)	0. 85	315, 959	371, 717	INTER RAO UES PJSC (ロシア)	32, 500	203, 101	6

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(ロシア)						
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR		1,880	3,327.5	3,437	388,003	電気通信サービス
VTB BANK JSC -GDR-REG S		—	8,500	1,961	221,447	金融
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR		—	700	1,463	165,143	素材
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR		1,950	1,700	2,839	320,466	素材
SISTEMA PJSC-REG S SPONS GDR		—	750	687	77,548	電気通信サービス
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS		1,255	450	1,739	196,377	生活必需品
MEGAFON-REG S GDR		1,800	1,200	1,335	150,762	電気通信サービス
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR		—	350	1,112	125,556	生活必需品
SBERBANK PJSC -SPONSORED ADR		1,000	2,200	2,541	286,828	金融
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S		300	380	4,959	559,771	エネルギー
LUKOIL PJSC-SPON ADR		200	850	4,654	525,411	エネルギー
ROSNEFT OIL CO PJSC-REGS GDR		5,000	5,000	3,032	342,308	エネルギー
GAZPROM PAO -SPON ADR		750	7,500	3,526	398,071	エネルギー
PHOSAGRO OAO-GDR REG S		550	—	—	—	素材
DETSKY MIR PJSC		—	3,500	510	57,647	その他
UNITED CO RUSAL PLC		—	2,500	134	15,228	素材
TMK PJSC		—	4,000	529	59,751	エネルギー
INTER RAO UES PJSC		225,000	450,000	2,995	338,108	公益事業
SBERBANK-PREFERENCE		7,500	5,500	1,176	132,788	金融
SURGUTNEFTGAS-PREFERENCE		—	40,000	2,397	270,590	エネルギー
ALROSA PJSC		12,500	27,000	4,593	518,561	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ		12,800	11,550	2,511	283,448	金融
BASHNEFT PJSC		—	50	295	33,334	エネルギー
SBERBANK OF RUSSIA PJSC		15,000	15,000	4,266	481,575	金融
MAGNIT PJSC		—	105	1,750	197,588	生活必需品
TRANSNEFT PJSC		5.7	7	2,270	256,322	エネルギー
SEVERSTAL PJSC		1,450	750	1,138	128,461	素材
AEROFLOT PJSC		—	3,800	1,130	127,609	資本財・サービス
MOSENERGO PJSC		—	200,000	979	110,579	公益事業
ROSTELECOM PJSC		6,750	3,750	515	58,199	電気通信サービス
TATNEFT PJSC		—	3,000	1,892	213,652	エネルギー
MMC NORILSK NICKEL PJSC		—	40	668	75,427	素材
GAZPROM PJSC		6,500	7,500	1,780	200,964	エネルギー
LUKOIL PJSC		655	600	3,298	372,305	エネルギー
RUSHYDRO PJSC		1,400,000	2,350,000	4,325	488,252	公益事業
ファンド合計	株数、金額	1,702,845.7	3,161,559.5	72,449	8,178,096	
	銘柄数<比率>	21銘柄	34銘柄		<91.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2017年 2月20日現在		
項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 8,178,096	% 91.7
コール・ローン等、その他	741,567	8.3
投資信託財産総額	8,919,664	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.88円です。
 (注3) 当期末における外貨建純資産(8,789,150千円)の投資信託財産総額(8,919,664千円)に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 2月20日現在		
項 目	当 期 末	
(A) 資産	8,976,099,003円	
コール・ローン等	583,703,369	
株式（評価額）	8,178,096,452	
未収入金	214,299,182	
(B) 負債	73,059,798	
未払金	72,659,798	
未払解約金	400,000	
(C) 純資産総額（A－B）	8,903,039,205	
元本	8,000,966,767	
次期繰越損益金	902,072,438	
(D) 受益権総口数	8,000,966,767口	
1万口当り基準価額（C／D）	11,127円	

＊期首における元本額は4,897,238,102円、当期中における追加設定元本額は3,290,642,504円、同解約元本額は186,913,839円です。
 ＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ロシア株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）13,405,793円、ダイワ・ロシア株ファンド7,982,134,215円、ダイワ新興４カ国株式ファンド（ダイワSMA専用）5,426,759円です。
 ＊当期末の計算口数当りの純資産額は11,127円です。

■損益の状況

当期 自2016年 8月23日 至2017年 2月20日		
項 目	当 期	
(A) 配当等収益	40,494,900円	
受取配当金	40,517,107	
支払利息	△	22,207
(B) 有価証券売買損益	1,247,299,745	
売買益	1,417,280,874	
売買損	△	169,981,129
(C) その他費用	△	8,079,151
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,279,715,494	
(E) 前期繰越損益金	△	806,564,391
(F) 解約差損益金	8,173,839	
(G) 追加信託差損益金	420,747,496	
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	902,072,438	
次期繰越損益金（H）	902,072,438	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。